

神奈川私学保連 NEWS



急がば回れ

神奈川県私学保護者会連合会 会長 市川 昌 廣

(横浜学園中学高等学校後援会会長)

中学生になったばかりの頃、私は家から学校までの通学路の最短コースを発見した。野球部に入りたての私はまだ球拾い。部活の先輩に、球を探してこいと命じられ、生徒ではめったに行かない校舎の裏手の古びた物置小屋まで来たときである。小屋の背後のコンクリート塀に、身を屈めればぐり抜けられそうな穴が開いている。恐る恐る穴の向こうを覗くと、朽ちかけた倉庫棟がどんよりとした空気の中に建ち並んでいる。廃屋になって久しい倉庫棟の存在は、近所の子どもなら誰でも知っていたが、小学生の頃の私たちは、イタチが潜んでいるとか、「人さらい」がいる、という噂にその敷地に立ち入ることはなかった。

当時、家から遠くなくても、小学生一人では決して近寄らないもう一つの場所があった。家から徒歩10分ほどの、改正道路の向こうに見える丘の森の中に荒れ果てた小さな「祠」(神を祭る社)があった。そこに訪れる人はめったになく昼間でも薄暗い。ある日の夕方、私たちは勇気を出し何人かで丘を登った。「祠」の境内らしき所まで来ると、麓の改正道路を行き交う自動車の音以外何も聞こえず、夕刻なのに空だけが妙に明るく、木立の周り

は深閑としていた。突然、赤褐色の獣が私たちの足下めがけて通り抜けた。「狐だ!」。私たちは立ちすくんで動けなかった。クモの巣に覆われた「祠」の下から実はイタチが飛び出ししてきたのだ。

通常、家から中学校までの通学路は、まばらに店が並ぶ商店街を通り抜け、公民館の角を曲がり校門までたどり着くコースだが、部活の球探しの日に発見した学校の塀の穴を私は忘れない。家から倉庫棟の敷地内を通り抜け塀の穴をくぐると、通常コースの3分の1で学校に着くだろう。その最短コースを、私はそれまで何度も空想していた。朝が早い部活の練習は怠け者の私にはきつかった。中学生になった私は、もはや倉庫棟の敷地に立ち入ることを恐れてはいなかった。とうとう私は一人で実行した。案の定、朝の敷地内は得体の知れぬ冷気に包まれていたが、私は誰にも襲われぬよう極めて慎重に奥へ奥へと歩き、学校の塀までたどり着いた。そして身を屈め尻から穴をくぐり抜け、最短コースで学校の敷地内に入った。私は有頂天だった。塀の穴を尻からくぐり抜けたのは、万が一、学校側から見つかってもすぐに逃げれば私が誰だか分からない、という私の知恵なの

だ。私は数日続けた。夏休みが近くなった頃、私はいつものように塀の穴をくぐり抜けた。学校の敷地の隅に野菜畑があった。その肥料用としていつも物置小屋の脇に肥料桶が置いてあった。その肥料桶に私は腰までドボンと浸かってしまったのだ。誰が穴の真下に置いたのか知らないが、私はつま先から腰まで糞尿漬けになったのである。

愚かな話とはかくとして、最近、深夜一人歩きの女性が暴漢に襲われる事件が相次いでいる。このような事件は今に始まったことではない。多くの人が集まるイベントには、暴漢がウヨウヨしている。深夜まで続くイベントの帰り道は、暴漢にとつて格好の狙い所だ。「いつもどおりの帰り道」という慣れは危険が潜む。やむを得ず遅くなったときは家族に迎えにきてもらうことが最善だが、それがしばしばになると、迷惑をかけるとか叱られるという自己問責を繰り返し、果てには、一人で夜道を帰る「誤った近道」を選択してしまふ。急がば回れ、という格言に隠れているもう一方の本質を、私たち大人が粘り強く教えねばならない。

11月25日、関内ホールで「神奈川県私立中学校・高等学校振興大会」が開催される。二〇〇三年以来10年ぶりの私学振興大会である。私学に通う子どもたちの保護者にとつて、公立と私立学校の学費負担の格差是正を、内外に強く訴える重要な大会だ。本気で参加を望みたい。

平成25年度

定時総会の開催

～ 神奈川の私学の発展のために ～

今年度の定時総会は5月24日（金）に崎陽軒本店（横浜駅東口）で開催されました。神奈川私学（小・中・高）の保護者会連合会の加盟校88校中、出席校24校、委任状提出校53校で総会は成立いたしました。出席者は、各校から84名、新旧役員11名、来賓1名、保護者会交流会7名となりました。

まず、保護者会の市川昌廣会長が挨拶し、次に来賓として、私立中学高等学校協会の工藤誠一理事長（聖光学院校長）からご挨拶をいただきました。議事に入り、平成24年度事業・決算報告と平成25年度事業計画・予算が提案され、すべて原案通り承認されました。

次に、小川役員推薦委員長より役員改選についての提案があり、10名の役員（理事）が承認されました。今年度は次の4名の皆様をご退任されました。橋本 恵（理事8年、会長4年、顧問8年）、小川 肇（理事8年、監事8年）、山岸篤郎（会計理事6年）、平山圭子（理事1年・監事1年）。長年のご功績に深く感謝を申しあげます。

新しい理事として浅見昌宏（立花学園高等学校）、萩原和多利（横浜商科大学高等学校）、前迫由香（横浜富士見丘学園）の3名が就任されました。新しい理事の皆様には公私ともに多用の中、役員をお引き受けくださり、ありがとうございました。

来賓あいさつ



共に歩む

～ 生徒と保護者と教師と ～

一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会

理事長 工藤 誠一

（聖光学院中学高等学校理事長・校長）

みなさんこんにちは、神奈川県私立中学高等学校協会の理事長をしております工藤です。皆様には日頃より私立学校の保護者として神奈川県内の私立学校に対し、深いご理解とご支援を賜っておりますことを心より御礼申し上げます。次第です。

卵焼き、カレーライス、教育は誰もが評論家としてこれを論ずることができ、多様な価値観のもとにさまざまな評価がなされてしまうものであります。かつては「三尺下がって師の影を踏まず」と言ったのですが、現在では新たな年度になり担当の先生が決まると、教師を「あたり」「はずれ」と、子どもの前で査定して憚（はば）か「はずれ」というような状況も、あるのではないのでしょうか。もちろん「教師も三尺先を歩いていることが大切である」ということは言うまでもないことです。

私は自分の学校で「保護者の皆様もまず自身子どもにとって『はずれ』でないかを自問してみることが大切です。教師のはずれは一、二年で終わるが、親の場合は一生なのでから」と語りかけます。現代の教育現場にはいじめや体罰など、様々な問題を抱えていることも否定できません。

かつて、ドラマ「聖者の行進」の主題歌になった中島みゆきさんの「命の別名」という曲があります。そこで繰り返し歌われているのは「命に付く名前を心と呼ぶ」という一節です。「名もなき君にも、名もなき僕にも、命に付く名前を心とよぶ」というのは、自分がいることを喜ぶ人がどこかにいて欲しいという叫びです。同時に相手の存在を認めていくことは教育の原点であると思います。

私の学校はカトリックの学校ですので、そのような視点から少しだけ子どもに対する教育について述べてみたいと思います。聖書の一節にこんな言葉があります。

「門から入らず、他の処からのりこえて羊の柵の中に入り込んで来るのは盗人であり、掠奪者である。門から入るのは羊の牧者である。すると門番は彼のために門を開く。羊は彼の声を聞き、彼は自分の羊のおおのの名を呼んでひき出す。」

（ヨハネ福音書第10章第1節～3節）

私は、教育者はよき羊飼いでなければならぬと考えています。牧者の役割は羊を盗み、掠奪するような私利私欲のために来るのではなく、「羊たちに生命を、それも豊かな生命を得

神奈川私学保護者会連合会の加盟校、会員の皆様には、これからも本連合会の諸事業のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



8月28日関東地区代表会（宇都宮市）にて

浅見理事（立花学園）
 深沼会計理事（横浜清風）
 金子監事（高木学園女子）
 玉園副会長（平塚学園）
 市川会長（横浜学園）
 佐藤副会長（横浜創英）
 前迫理事（横浜富士見丘）
 市川監事（武相学園）
 原会計理事（聖光学院）
 大矢事務局次長

●平成25年度 神奈川県私学保護者会連合会 役員

役職名	氏名	所属父母会（PTA）・役職名
会長	市川昌廣	横浜学園中学高等学校後援会 後援会会長
副会長	佐藤昭	横浜創英中学高等学校後援会 後援会会長
	玉園篤敏	平塚学園高等学校父母の会 会長
理事	浅見昌宏	立花学園高等学校PTA 参与
	萩原和多利	横浜商科大学高等学校PTA 会長
	前迫由香	横浜富士見丘学園中等教育学校PTA 副会長
会計理事	深沼昭彦	横浜清風高等学校PTA 常任顧問
	原大蔵	聖光学院中学高等学校聖光会 理事
監事	金子晃久	高木学園女子高等学校PTA 顧問
	市川千恵	武相中学高等学校PTA後援会 相談役

させるために来る」のです。そして、羊たちの豊かな生命は、羊が日々のおのの名前で呼ばれ、引き出されることの繰り返しを通して得られていくからなのです。教育という言葉の語源は「引き出す」です。それは単なる能力の開発に終わってはならないのであり、真の教育の目指すところは、一人ひとりがユニークな自分になりきることに。自己の可能性を実現することにあるのです。

「名前で呼ばれること」とは、他と比較して独自の価値、独自の生活を持った一人として

愛されてゆくことなのです。それだけに教師にとっては、子どもの名前を一人でも多く覚えることは大切なことです。よくよく考えてみれば、子どもは順番をつけられたり、選ばれたりするためにこの世に生まれてきたわけでありません。一人ひとりが神様から授かった使命を果たすために誕生したわけです。将来において子どもたちがどんな場所ですべてどのように生きていくかについて、私たちの多くは最後まで見届け続けることはできません。それだけに、子どもの資質をより引き出してあげるといふ教育の営みが大切になってくると考えるのです。

また、聖書の中には次のような一節があります。

「風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞くが、それがどこから来て、どこへ行くかは知らない。霊から生まれたものも、皆それと同じである。」

（ヨハネ福音書第3章第8節）

キリスト教の世界では人は形にとらわれることなく、神様からの思いが込められた霊の息吹きのうちそれぞれを歩むことができると思っています。国境を越えたグローバルな世界にあって、神奈川私学で育った子どもたちが人類世界のために大いに活躍してほしいと願っています。今日という日は子どもたちの夢に続く入口であると思いますし、たとえ昨日変えられなかったことでも明日は変えることができるのです。そんな希望をもって、保護者の皆様と私たち神奈川私学の教職員が歩みを共にすることができればと思っております。

特別演奏会

●平成25年5月24日

●場所 崎陽軒本店（4階）

なつかしい想い出の歌 コンサート

歌 吉岡小鼓音さん

ピアノ 林 絵理さん



●司会 小川 肇 監事

今日は素晴らしいゲストをお招きしました。ボーカルの吉岡小鼓音さんです。2歳からピアノ・歌を始めて、東京芸術大学音楽部声楽科を卒業しました。劇団四季のオーディションに一発で合格し、オペラ座の怪人のヒロイン、キャッツのシラバブ役、また、東宝ミュージカルの回転木馬にも出演され、非常に好評でした。現在は各地で公演活動を展開しております。ピアノで共演する林絵理さんは、東宝学園芸術短期大学の講師で、舞台作曲家としても大活躍している方です。吉岡さんは聖ジョセフ学園、林さんは白百合学園とお二人とも私学出身でございます。

ヨークに連れて行ってもらった時、本物のジュリアンドリュースに会って感動したことを覚えています。私はミュージカルからたくさんの人生、考え方、歴史を勉強させてもらいました。ご紹介いただきましたように劇団四季に何年かおりました、厳しい修行を経て色々な仕事をしてきました。この間まで横浜でミュージカル・キャッツが上演されていきました。私がキャッツに出たのは何年も前で、名古屋に黒テントがあった時代に、私たちの出るようなテントの中で、暑くてお化けの出そうな猫の世界をセットしたものでした。

体力を使う舞台で疲労で肋骨を折ってもそのまま舞台を続けていた時代もありました。今ではとてもできません。それではもう一曲ミュージカルを聞いていただきます。キャッツはT・Sエリオット詩人が書いた哲学なのですね。人間の幸せはこういうものがテーマになっていて、それを擬人化されて24匹の猫が出てくるわけです。お金を配る猫、マジックを威張る猫などいろいろな猫がいる中で、何ももっていない猫が、幸せとは今を一生懸命生きることによって、時間が本当

の幸せな姿になって思いつくようになる。だから「先を急ぐことなく今を大切に生きなければならぬことがわかった」と言って天に召されてしまつ。その年のジョイフルキャッツに選ばれるというお話です。

さんのお母様はアニーローリーが好きでした。懐かしいエディンバラ、スコットランドを思い出しながらスコットランド民謡を3曲続けてお聞きください。

●植生の宿 故郷 アニーローリー

ところで先ほど、私が聖ジョセフの卒業と紹介されましたが、それは小学校であつて中学は「中学生日記」にあこがれて地元の公立中学校へ入学し、高校は平沼高校でオーケストラ部に入っています。そのときの友達が今日来ていてくださつて本当に嬉しく思います。その気持ちで次はメモリーを歌わせていただきます。

●メモリー

やっぱり日本は素晴らしい国ですね。こここの温度が急激に変化していますが、皆様の体調はいかがですか。

劇団四季をやめてから一番印象に残っているのは、客船日本丸で世界一周をした時に、スコットランドのエディンバラ音楽祭で「あれっ！」と思つた音楽がありました。スコットランド民謡「蛍の光」が演奏され、日本になじんでいるのだなと思つても感動しました。

サトウハチローさんの半生を描いた「お母さん」という舞台に出て、お母さんの役を演じたことがあります。サトウ

「ふるさと」は第二の国歌のようですね。歌うたびに懐かしい気持ちになります。ここでオリジナルの歌をお届けします。私は結婚が遅く子育てなどは絶対に

それでは拍手でお迎えください。オーピングソングはサウンド・オブ・ミュージックです。

●サウンド・オブ・ミュージック

●茶摘み 夏の想い出 ふるさと

私の大好きなサウンド・オブ・ミュージックからお届けしました。一緒に歌ってくださる方もいらつしやうって本当にありがとうございます。サウンド・オブ・ミュージックについては、父にニュー

●吉岡小鼓音さん

「ふるさと」は第二の国歌のようですね。歌うたびに懐かしい気持ちになります。ここでオリジナルの歌をお届けします。私は結婚が遅く子育てなどは絶対に

私の大好きなサウンド・オブ・ミュージックからお届けしました。一緒に歌ってくださる方もいらつしやうって本当にありがとうございます。サウンド・オブ・ミュージックについては、父にニュー

●吉岡小鼓音さん

「ふるさと」は第二の国歌のようですね。歌うたびに懐かしい気持ちになります。ここでオリジナルの歌をお届けします。私は結婚が遅く子育てなどは絶対に

私の大好きなサウンド・オブ・ミュージックからお届けしました。一緒に歌ってくださる方もいらつしやうって本当にありがとうございます。サウンド・オブ・ミュージックについては、父にニュー

●吉岡小鼓音さん

「ふるさと」は第二の国歌のようですね。歌うたびに懐かしい気持ちになります。ここでオリジナルの歌をお届けします。私は結婚が遅く子育てなどは絶対に

私の大好きなサウンド・オブ・ミュージックからお届けしました。一緒に歌ってくださる方もいらつしやうって本当にありがとうございます。サウンド・オブ・ミュージックについては、父にニュー

●吉岡小鼓音さん

「ふるさと」は第二の国歌のようですね。歌うたびに懐かしい気持ちになります。ここでオリジナルの歌をお届けします。私は結婚が遅く子育てなどは絶対に

できないと思っていました。奇跡的に子どもを授かり42歳で初産しました。今は小学校2年生です。

一度しかない子育て、一緒に楽しんでみようと努めてPTA副会長をしています。今日はPTAの仕事を他の役員に任せてきました。この会場にお集まりの皆さんに親近感を覚えます。PTAの仕事率先してやろうと、この前は家で700枚近くのプリントをコピーしてホチキスで留めたら、その後、腱鞘炎になり、翌々日には背中がパンパンに張ってしまいました。こういうプリント一つにしても、PTAの皆さんがこういう気持ちでやっているのだなということがわかりました。学校や先生のことなど、舞台だけをやっている時には気づかなかったことを体験する毎日を通っています。

驚異の出産のとき、主人の友達の胎内記憶を研究している人から「前置胎盤気味だが、話しかければ帝王切開をしなくて大丈夫だよ」と言われました。そこで、ずっと普通に話しかけていたら普通に出産することができました。超高齢者出産



だったので長くかかり大変だったのですが、その時に今日のピアノの林絵里さんがほとんど立会ってくれました。

林さんとは主人の実家のある庄内地方に行つて農園の刈り取りと一緒にするなど、親戚のような付き合いをさせていただいています。そんな子育てをしながら彼女に曲を書いていただきました。

生まれたときの感動を忘れまいと、この歌を歌っています。ハローマイベイビーです。

(ハ) ハローマイベイビー

子どもができなかったらこういう曲もできなかったと思います。アルバムを出そうということになりまして、小坂明子さんが作曲をしてくださり、主人が作詞をしました。

夏になると庄内地方はとても暑くなります。毛呂農場はアスパラを生産していますが、月山の美しい風景をバックに私は野菜の力に目覚め、食べるようになりました。今年も花火大会に行こうと思います。

今年も皆様にとって、すてきな夏が来るようにという思いをこめた歌を送ります。

(イ) 夏のロジュ

それではプログラム最後の曲となりました。「地球の子どもたち」です。これもオリジナルの曲です。ニューヨークに行った時、いろいろな国の子どもたちに出会いますが、みんな目を見るだけです。くにお友達になってしまふ。子どもたちに国境はないのだなあと思いました。また飛行機から見る地球は青くてとてもきれいでした。そのような気持ちを若い時代の私が詩にしたものです。いろんなことが起きる地球ですが、子どもたちには元

気に育つてほしいと思います。それでは最後の曲です。

(ア) 地球の子どもたち

アンコールの拍手

(イ) ドレミの歌(みんなで合唱)

(司会)

すばらしい音楽会になりましたね。皆さんの曲を聞かせていただきました。

(保護者会 市川会長)

とても感動しました。すばらしい歌とピアノ伴奏に、エネルギーをいただき、気持ちがあすきりました。ありがとうございました。

(司会)

お二人に花束を贈らせていただきありがとうございます。皆様、拍手をお送りください。

心に響く演奏会に感謝して

市川 千 恵

(武相学園PTA後援会相談役)

外は夏を思わせる暑さの中、ここダイナステイでは、林絵理さんが演奏するグランドピアノの音色に合わせて、吉岡小鼓さんの心地良い歌声が聞こえていました。

一曲目に誰もが聞いたことのあるサウンド・オブ・ミュージック。歌の大好きなマリヤがみんなの心を歌の世界へと引き込んでくれました。次のドレミの歌では、会場の皆さんと一緒に口ずさみました。以前、私学保護者会連合会の研修事業で鑑賞した『キャッツ』のミュージカルより、名曲メモリーを歌っていたとき、名場面を思い浮かべた方もいらしたことが

と思います。

代表曲が続く中、スコットランド民謡「アニーローリー」など、先ほどとは変わって、しっとりとした曲を歌っていただきました。吉岡さんのお話の中で、「蛍の光」もスコットランド民謡だと伺い、びっくりいたしました。

その後、日本の四季メドレーに移り、「茶摘み」や「ふるさと」など日本の情緒豊かな歌に触れ、懐かしく思いました。オリジナル曲の「ハローマイベイビー」では、吉岡さんがお子さんをご出産され、作られた歌でした。母として、誕生した我が子を抱き、喜びと感謝の気持ちでいっぱいになった。忙しい子育ての中で、つい忘れがちになっていた我が子誕生の時を思いだし、優しい気持ちで帰路に着かれた方も多かったのではないのでしょうか。心温まる素敵なひとときでした。



平成25年度日私保連総会・研修会

香川大会に参加して

副会長 佐藤 昭
(横浜創英中学高等学校 後援会会長)



日本私立学校保護者会連合会の総会・研修会が、7月12日から13日の2日間、香川県高松市で開催されました。今年のテーマは「今こそ私学から発信！教育が未来を拓く」21世紀（あす）を担う子どもたちのために」というものでした。

会場の「JRホテルクレメント高松」は高松港の目の前にあり、窓からは高松城址も見えました。

一日目の総会では、最初に下村文部科学大臣、浜田香川県知事、大西高松市長の祝辞と、日本私立中高連の吉田会長の来賓挨拶がありました。議事に入り、平成24年度の事業・決算報告と平成25年度の事業計画・予算（案）、役員改選（案）がすべて承認されました。

次の講演では「公私間格差の是正に向けた取り組み」という演題で、吉田会長が熱くお話ししました。公私間格差の是正については「私学への経常費助成」と「保護者負担の格差の是正」という視点から取り組む必要があるということでした。配布された資料によると、今年度の都道府県別私立学校の経常費助成（生徒一人当たり単価）の順位では、神奈川県は中学校がワースト1位、高等学校がワースト3位となり、国の財源措置額を大きく下回っています。

二日目の研修会では「家庭における学習環境を考える」と「こんぴら信仰について」という演題で、二つの講演がありました。

また、尽誠学園高等学校の高校生による「尽誠太鼓」の発表もあり、食事には必ず「讃岐うどん」が出されるなど、香川県の特色がよく表れている大会になりました。

日私保連関東地区代表者会・研修会

「公私間格差の是正」が重要な目標

副会長 玉園 篤 敏
(平塚学園高等学校 父母の会会長)

8月28日午後、栃木県宇都宮市で関東地区私学保護者会連合会代表者会が開催されました。神奈川県私学保連からは、市川会長以下9名の理事と、事務局次長が出席しました。

最初に、関東地区の島村健会長（埼玉県）が「公私間格差の是正が、私学保連活動の重要目標である」と挨拶されました。来賓代表の挨拶では、栃木県私立中高連の船田元会長が「私学を取り巻く環境は依然として厳しいが、徐々に改善されていく傾向がみられる」と話されました。

次に、千葉・神奈川県・埼玉・群馬・栃木・茨城の順で、関東地区各県の活動報告と情報交換が進められました。

後半の研修会では、日光東照宮の特別顧問である高藤晴俊先生が「世界遺産 日光東照宮の謎と真実」という演題で講演しました。

先生のユーモアあふれる話し方と、東照宮への熱い思いがこもった内容に、いつのまにか引き込まれ、あっという間に90分が過ぎてしまいました。

東照宮の成り立ち、その意図する内容、それらが随所に散りばめられた建造物・彫刻・絵画等、世界遺産に相応しい奥深い日光東照宮であることを再認識し、感動した次第です。

研修会後は6県の役員が参加する懇親会となり、最後に来年度の次期開催県である、茨城県代表のご挨拶で閉会となりました。



いじめ・暴力行為を考える協議会

理事 深沼 昭彦

(横浜清風高等学校PTA常任顧問)

今年度第一回（通算51回）の「神奈川県いじめ・暴力行為問題対策協議会」が、7月19日に私学会館で開催されました。私がこの協議会に出席するのも4年目になります。最初に出席した頃と現在を比べると、この問題の内容や状況が大きく変化してきたと思います。今回の協議会は最初に私学振興課より情報提供があり、6月28日に公布された「いじめ防止対策推進法」について説明がありました。「いじめ」が深刻な事態にあり、早急に抑止・解決するために議員立法で法律を制定したということです。

今の社会にはメールやツイッターなど様々なツールがあり、本人のわからないところで、悪口や誹謗中傷が独り歩きしている場合も少なくありません。何気なく発信したことが大きくなり、收拾がつかなくなることもあるようです。

次に体罰について協議しました。神奈川県教育委員会が7月に発表した「体罰防止ガイドライン」を資料にして説明を聞きました。が「体罰」と「懲戒」の区別は難しいことだと感じました。また、物理的な体罰はわかりやすいのですが、精神的な苦痛は受けた本人しかわからないものだと思います。教育における体罰は絶対にあつてはならないと改めて感じました。

いじめと体罰の問題を解決するために、私たち保護者はもっと危機感と関心を高めて、真剣に考えるべきだと思います。



県議会議長へ請願・署名を提出

私立学校への「経常費助成補助」の増額を求めて

県議会議長へ請願・署名を提出
9月10日 神奈川県庁新庁舎

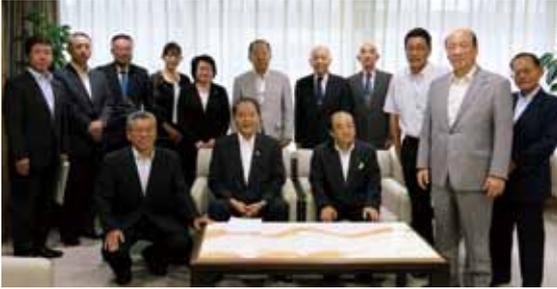
まだまだ厳しい残暑の中、私立中学高等学校協会役員5名と私学保護者会連合会の役員6名が県庁を訪問し、私立学校の保護者負担の軽減と教育条件の維持向上に向けた、私学への「経常費助成補助」の増額等を県議会議長に要請しました。

全加盟校にお願いした「経常費助成補助」に関する署名は、全校の学校・法人・保護者代表から246名が集まり、中高協会の工藤誠一理事長と保護者会連合会の市川昌廣会長が代表して、古沢時衛県議会議長に提出しました。

平成25年度の都道府県別私立学校経常費助成の資料によると、神奈川私学の金額は、非常に低い水準にあります。

神奈川県に学ぶ生徒たちが、保護者の経済状況に左右されず、より自由に学校選択ができる教育環境をつくるために、私学への助成は極めて重要なことと考えます。

これからも「経常費助成補助」のさらなる増額を求める取組について、全加盟校のご協力をお願いします。



新役員紹介

理事就任にあたって

新理事 前迫 由香
(横浜富士見丘学園PTA副会長)



横浜富士見丘学園は、新しい時代を生きた女性」を育成することをめざして、一

人ひとりを尊重しながら、心美しく優れた人格の女性育成に努めている、女子の中等教育学校です。理想とするのは、深い教養と洗練された平和を愛する国際感覚にあふれ、「社会のために、そして他者のために役立つ自分でありたい」という強い意志力を持った聡明な女性です。

創立九十周年を迎えた今年、創立以来初めてとなる女性の校長先生を迎えました。新しい風と共に、更なるステップアップをめざして進み始めています。

また、教育懇談会、授業参観、個人面談、各行事等、保護者が学園に足を運ぶ機会が多く用意されており、先生方のきめ細かいご指導に感謝すると共に、学園と同じ価値観を持ちながら子どもたちの成長を手助けする事ができ、あらためて私学教育の大切さを感じています。

本学園のPTAは、会員の皆様に支えていただきながら、各委員会の活動、講演会開催、文化祭参加、サークル活動等を通して、先生方や保護者相互の交流を図っています。一人ひとりの子どもたちの確かな未来のために、学園と歩調を合わせてサポートしていきたいと思っております。

ります。

本年度、神奈川県私学保護者会連合会の理事をお引き受けすることになりました。微力ではありますが、皆様方のご指導のもと、お手伝いできますよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

私学発展のために精一杯努めます

新理事 浅見 昌宏
(立花学園高等学校PTA会長)



立花学園高等学校は、足柄平野北部の松田町にあります。丹沢山や箱根の山々に囲まれ、今年、世界文化遺産となった雄大な富士山が美しく見える、四季を通して自然豊かな環境に恵まれています。

学校はいつもチャレンジしています。昨年度は最先端の防災プログラムにより、宿泊型防災訓練を実施しました。いざという時に、一人ひとりが自主的に、また指導的な立場にたつて社会に役立つための「防災リーダー」を育成しようというものです。約120名の生徒が参加しましたが、生徒や先生方の2日間の真剣な取り組みは話題となり、報道でも紹介されました。

立花学園は「人間として本当に大切なことは何か」をきちんと学ぶことを推進しています。勉強や部活動はもとより、生徒の向上心や自己啓発の取組を力強く支援してくださる先生方には敬意を表します。この教育理念は、今の社会に求

められているものであると思います。

このたび、保護者会の理事を仰せつかりました。このような大任を引き受けたのは初めてのことで、どこまでできるかという不安はありますが、私学発展のため精一杯努めますので、どうぞよろしくお願いたします。

役員のご苦労がわかりました

新理事 萩原 和多利
(横浜商科大学高等学校PTA会長)

今年度より私学保護者会連合会の理事を仰せつかりました萩原です。5月の定時総会で承認されてから、月1回の理事会が開催されており、仕事の都合や体調不良もあって出席できないことがあり、申し訳なく思っています。

市川会長、佐藤副会長、玉園副会長をはじめとする保護者会役員は、7月に全日本私学連の総会（香川県高松市）や、8月に関東地区私学連の代表者会（栃木県宇都宮市）に県外出張をするなど、とても大変なご苦労をされていることがわかりました。

また、夏に開催された私立中高協会の理事長・校長研修会や事務長会夏季研修会にも出席し、私立中学高等学校の理事長・校長・事務長の方々と共に、研修と懇親を深めていることがわかりました。

今年には神奈川県私学振興大会が開催されます。

微力ではございますが、私も新役員として努力していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

保護者の願いを届けましょう！

神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会開催

11月25日(月) 14時 横浜市関内ホール

10年ぶりとなる「神奈川県私立中学校・高等学校振興大会」を、私立中学高等学校協会主催、私学保護者会連合会・交流会の共催で開催します。

開催の趣旨は、神奈川県私立中学校・高等学校のより一層の振興を期して「神奈川県私立学校の決意と願い、及び努力を神奈川県民の皆様にアピールする」ことを目的として、

- ① 改正教育基本法及び私学振興助成法の精神を十分に反映した私学振興策の着実なる実施
- ② 公私間の学費格差の是正や公立学校の協調経常費補助（生徒一人当たりの単価）を国の財政措置額並に増額
- ③

ということになります。

当日の招待者（予定）は、神奈川県知事の黒岩祐治様、県議会議長の古沢時衛様、県私学審議会会長の中村省司様をはじめ、来賓として国会議員、県会議員の皆様をお迎えする予定です。

参加者は、加盟校の理事長・校長・教職員及び保護者会から各校10〜15名程度をお願いします、約1,100名の大会にしたいと考えております。多くの皆様のご参加を、よろしくお願いします。

神奈川県私立中学校・高等学校振興大会

実施日	平成25年11月25日(月)
会場	横浜市関内ホール(大ホール)
	<交通> JR「関内」駅北口徒歩9分 市営地下鉄「関内」駅9番出口徒歩3分 みなとみらい線「馬車道」駅5番出口徒歩4分
時程	<ul style="list-style-type: none"> ・受付 13:00~14:00 ・振興大会 14:00~15:30

主な行事への出席

- ◆5月14日(火) 平成24年度会計監査 平成24年度5月理事会(最終)
- ◆5月24日(金) 平成25年度定時総会・特別演奏会 *崎陽軒本店
- ◆6月28日(金) 関東地区私学保護連理事會 *栃木県宇都宮市(市川会長、事務局)
- ◆7月12日(金)~13日(土) 日本私学保護連総会・研修会 *香川県高松市(市川会長、佐藤・玉園副会長)
- ◆7月15日(月) 「2013全私学(中・高展)」 *パシフィコ横浜(市川会長、佐藤副会長、前迫理事、深沼会計理事、金子監事)
- ◆7月17日(水) 薬物クリーン神奈川推進会議(前迫理事)
- ◆7月19日(金) 県いじめ暴力行為問題対策協議会 *私学会館(市川会長、佐藤・玉園副会長、深沼会計理事)
- ◆7月31日(水) 社会環境健全化推進街頭キャンペーン(前迫理事)
- ◆7月30日(火)~31日(水) 事務長会夏季研修会 *熱海後楽園ホテル(市川会長、浅見理事、深沼会計理事、金子監事)
- ◆8月20日(火)~21日(水) 理事長・校長研修会 *箱根湯本富士屋ホテル(市川会長、佐藤・玉園副会長)
- ◆8月26日(月) 公立高等学校協議会 *県庁(市川会長)
- ◆8月28日(水) 関東地区私学保護連総会・研修会 *栃木県宇都宮市(市川会長、他役員8名)
- ◆9月10日(火) 県議会議長への請願 *県庁(市川会長、他役員5名)

これからの行事予定

- ◆10月18日(金) 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅰ」 *東京宝塚劇場(市川会長、石田代表、約1000名)
- ◆11月25日(月) 神奈川県私立中学高等学校振興大会 *関内ホール
- ◆12月3日(火) 私学振興全国大会 *日比谷公会堂
- ◆2月(予定) 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅱ」(講演会の予定)

神奈川県私立中学高等学校案内 ホームページ <http://www.phsk.or.jp> ●内容 学校情報・入試情報・英文情報・学費補助

■発行者 『神奈川県私学保護者会連合会』 〒221-0833 横浜市神奈川区高島7番地5 神奈川県私学会館内 ☎045(321)1901
 ■印刷所 『有限会社 イソノ』 〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-10-4 ☎045(753)2549